

第47回各務原市地域公共交通会議 議事要旨

日 時	令和8年1月9日(金) 14:00~
場 所	各務原市産業文化センター 8階第2特別会議室
出席者 (敬称略)	<p>【委員】(敬称略)</p> <p>井上 雅隆 (東海旅客鉄道株式会社東海鉄道事業本部管理部企画課課長代理)</p> <p>高井 勇輔 (名古屋鉄道株式会社地域連携部交通サービス担当課長) (代理: 夫馬康昌)</p> <p>臼井 雅宏 (名鉄バス株式会社運輸統括部交通企画官)</p> <p>宮部 敬輔 (岐阜乗合自動車株式会社営業管理部課長)</p> <p>木村 治史 (公益社団法人岐阜県バス協会専務理事)</p> <p>石井 靖治 (岐阜交通東部株式会社代表取締役)</p> <p>山田 健太郎 (株式会社日本タクシー代表取締役社長)</p> <p>平下 和重 (岐阜県タクシー協会岐阜支部支部長)</p> <p>正村 明 (岐阜乗合自動車労働組合執行委員長)</p> <p>並木 祐之 (市自治会連合会副会長)</p> <p>近藤 亜矢子 (子ども子育て会議委員)</p> <p>清水 孝子 (八木山地区社会福祉協議会理事)</p> <p>下平 真一郎 (中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>児玉 忠哲 (岐阜土木事務所施設管理課長)</p> <p>川口 雅慎 (各務原市都市建設部長) (代理: 永井聡)</p> <p>村瀬 義樹 (各務原警察署交通課長)</p> <p>大脇 哲也 (岐阜県都市建築部公共交通課長) (代理: 山本政敏)</p> <p>井戸田 直人 (各務原市議会建設水道常任委員長)</p> <p>各務 英雄 (各務原商工会議所専務理事)</p> <p>杉山 仁 (株式会社アイシン移動サービス事業推進部移動サービス企画室 室長)</p> <p>川端 光昭 (岐阜工業高等専門学校環境都市工学科准教授)</p> <p>磯谷 均 (各務原市副市長)</p> <p>【事務局】 各務原市 都市建設部都市活力創造課</p>

■次第

・議事

- ① ふれあいバスの改正について
- ② 緑苑団地デマンド便の休止について
- ③ 各務原市地域公共交通計画の変更について
- ④ 令和7年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価及び地域公共交通計画の評価結果について
- ⑤ 令和7年度予算の補正について

・報告

- ① ふれあいバス等懇談会の開催結果について
- ② チョイソコかかみがはらの運行事業者について

- ③ チョイソコかかみがはらの停留所について
- ④ チョイソコかわしまの停留所について

■開会

【事務局】

定刻となりましたので、ただ今より、「第 47 回各務原市地域公共交通会議」を開催します。それでは、委員長より委員の皆様にご挨拶申し上げます。

■委員長挨拶

【磯谷委員長】

本日は、「第 47 回各務原市地域公共交通会議」にご出席いただき誠にありがとうございます。今回は、令和 8 年 4 月のふれあいバスの改正と、緑苑団地デマンド便の休止についてご協議いただきます。また、ふれあいバスの改正や路線バスの廃止等に伴う地域公共交通計画の変更や、令和 7 年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価及び地域公共交通計画の評価結果についても協議いたします。皆様の活発なご意見に期待します。

■定足数確認

【事務局】

各務原市地域公共交通会議設置規約第 7 条第 2 項の規定により、開会には委員の過半数の出席が必要です。本日は委員 25 名中、19 名がご出席、委任状により代理出席の方が 3 名ですので、本会議が有効に成立していることを報告いたします。ここからは、委員長に議事の進行をお願いします。

■議事

【磯谷委員長】

議事 1 「ふれあいバスの改正について」、事務局からの説明をお願いします。

(事務局より説明)

【磯谷委員長】

事務局の説明についてご意見ご質問はございませんか。

【子ども子育て会議委員 近藤委員】

改正を 4 月 1 日に行うとありますが、高校生の親は春休みに通学方法を考えていると話を聞きます。改正を 4 月 1 日に行うと通学方法を急に変更する必要がある子も出てくるため、改正のタイミングを考えてください。

【事務局】

改正のタイミングは、岐阜バスの定期改正に合わせているため、4 月や 10 月に改正を行うことが多くなります。それ以外のタイミングの改正も可能ですが、市独自の改正を行うと時刻表データの更新、車内音声システムなどへの費用負担が必要になりますので、緊急性が無い限り、岐阜バスの定期改正に間に合うように計画的に改正作業を進めています。各務原高校へ入学する子や保護者には、毎年合格発表の際に公共交通で高校へ通う方法を記

載した資料を配布しています。また3月までに広報紙やウェブサイトで改正を周知しています。皆様が混乱しないよう今後も周知に努めてまいります。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

稲羽西線で完全廃止となるバス停がありますが、いつから周知を行いますか。

【事務局】

バス停が廃止となる旨を記載した案内を、バス車内、停留所標識に掲示します。また、広報紙に掲載し、改正に関係がある自治会へ回覧文書を2月15日に配布します。

【磯谷委員長】

議事1「ふれあいバスの改正について」、ご承認いただけますか。

※承認

【磯谷委員長】

議事2「緑苑団地デマンド便の休止について」、事務局の説明をお願いします。

(事務局より説明)

※委員からの質問や意見は、なし

【磯谷委員長】

議事2「緑苑団地デマンド便の休止について」、ご承認いただけますか。

※承認

【磯谷委員長】

議事3「各務原市地域公共交通計画の変更について」、事務局の説明をお願いします。

(事務局より説明)

【磯谷委員長】

事務局の説明についてご意見ご質問はございませんか。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

ふれあいバス改正や補助金申請のために、将来公共交通ネットワークイメージが変更になることはわかりますが、計画策定当初のコンセプトがどうだったかわからなくなる可能性があります。運輸局と相談も必要ですが、変更履歴を計画に残していくと担当者が変わっても問題なく計画を進めていけるのではないのでしょうか。

【事務局】

変更履歴は残していますので、最終評価の際には、当初の計画と比較して評価できます。計画当初のイメージを変更計画の中に残すことも検討します。

【磯谷委員長】

議事 3 「各務原市地域公共交通計画の変更について」、ご承認いただけますか。

※承認

【磯谷委員長】

議事 4 「令和 7 年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価及び地域公共交通計画の評価結果について」、事務局の説明をお願いします。

(事務局より説明)

【磯谷委員長】

事務局の説明についてご意見ご質問はございませんか。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

チョイソコの利用者が増えたことでタクシー事業者に影響がないかご教示ください。

【事務局】

タクシー事業者とは、チョイソコ研究会などの意見交換を通して、タクシー事業とチョイソコのバランスを取りながらできるだけ本業に影響がないよう配慮して運行しております。株式会社日本タクシー山田委員、岐阜交通東部株式会社石井委員いかがでしょうか。

【株式会社日本タクシー 山田委員】

タクシーの状況ですが、全国的に増加ではなく減少しています。日本タクシーは乗務員不足が深刻でしたが、現在は乗務員も増えています。乗務員が増えたことで、タクシーの需要にこたえられるようになってきました。

【岐阜交通東部株式会社 石井委員】

タクシーからチョイソコへ切り替えられたお客様もいたため、チョイソコが本業に影響がないとは言いきれませんが軽微かと思えます。実際に問題なのは、乗務員不足による減収です。しかし、チョイソコを運行することで、タクシーのニーズにつながればと考えておりますので、引き続き運行していきます。

【中部運輸局岐阜運輸支局 下平委員】

令和 7 年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価及び地域公共交通計画の評価結果概要（全体）の 7 ページに稲羽西線が C 評価、地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）の稲羽西線は B 評価ですが、誤りではありませんか。

【事務局】

令和7年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価及び地域公共交通計画の評価結果概要（全体）は評価基準と利用者数から路線見直しの必要性有のC評価としました。地域公共交通確保維持改善事業・事業評価は、目標数値を超えているためA評価としたいところですが、半年分稲羽線の利用者も含まれており、2路線に分割後の実情を見てB評価としました。評価基準が異なるため、C評価、B評価としています。

【岐阜土木事務所 児玉委員】

令和7年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価及び地域公共交通計画の評価結果概要（全体）10ページの赤字部分を補足してください。

【事務局】

緑苑団地デマンド便についての記載になります。緑苑団地デマンド便は、緑苑八木山線が減便した時間帯に平均して4名程度の乗車であったため、名古屋鉄道株式会社、岐阜乗合自動車株式会社、岐阜名鉄タクシー株式会社、各務原市の4社で連携協定を結び運行しています。しかし、利用者が伸びないため議事2で説明したとおり休止しますが、今後、地元の自治会も一緒になって今後の運行方法について議論していくため赤字部分を記載しております。

【磯谷委員長】

議事4「令和7年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価及び地域公共交通計画の評価結果について」、ご承認いただけますか。

※承認

【磯谷委員長】

議事5「令和7年度予算の補正について」、事務局の説明をお願いします。

（事務局より説明）

※委員からの質問や意見は、なし

【磯谷委員長】

議事5「令和7年度予算の補正について」、ご承認いただけますか。

※承認

■報告

【磯谷委員長】

報告1「ふれあいバス等懇談会の開催結果について」、事務局からの説明をお願いします。

（事務局より説明）

【磯谷委員長】

この件について、ご意見ご質問はございませんか。

【子ども子育て会議委員 近藤委員】

田辺様は全ての会場に参加されたのでしょうか。

【事務局】

参加ができる会場にはすべてお越しいただきました。参加できない場合は、我々が代弁しました。

【子ども子育て会議委員 近藤委員】

田辺様は、まちづくり推進課でも公共交通について取り組みをされていますが、ふれあいバス等懇談会とは別ものと認識してよいですか。

【事務局】

おっしゃる通りです。まちづくり推進課の事業に公共交通政策係も参加しました。まちづくり推進課の取り組みでは、公共交通の使い方などを説明し、公共交通機関を使って目的地に集合することを計画しました。ふれあいバス等懇談会は公共交通についてご意見をいただくもので、まちづくり推進課の取り組みとふれあいバス等懇談会は異なります。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

4 ページ目の周知ですが、コンビニや病院には公共交通マップやチョイソコの利用案内は置いていませんか。

【事務局】

チョイソコの利用案内は、スポンサー施設に置かせていただいております。コンビニは数が多いため対応できておりません。

【八木山地区社会福祉協議会理事 清水委員】

八木山地区でも免許返納しようと考えている方が、公共交通の使い方がわからないということでよく相談に来ます。その際は、普段ふれあいバスやチョイソコを利用している方に使い方を丁寧に説明してもらっています。八木山地区はチョイソコが導入されたため、ふれあいバスの本数は減りましたが、これ以上減らないようにしてください。私も免許がある元気なうちに公共交通に慣れて、免許返納しても問題なく生活できるようになりたい。また、八木山地区でも免許返納する前に公共交通に慣れていただけるよう声かけをしていきます。

【磯谷委員長】

報告2「チョイソコかかみがはらの運行事業者について」、事務局からの説明をお願いします。

(事務局より説明)

【磯谷委員長】

この件について、ご意見ご質問はございませんか。

※委員からの質問や意見は、なし

【磯谷委員長】

報告 3「チョイソコかかみがはらの停留所について」、事務局からの説明をお願いします。

(事務局より説明)

【中部運輸局岐阜運輸支局 下平委員】

スポンサー契約が終了したため廃止したとありますが、そのまま停留所を残すという選択にはなりませんでしたが。

【事務局】

五島医院は各務原まつおクリニックに引き継がれました。ローソン各務原須衛店は、利用実態がありませんでしたので、廃止の案内をしてから 6 か月期間を設けて廃止しました。

【磯谷委員長】

報告 4「チョイソコかわしまの停留所について」、事務局からの説明をお願いします。

(事務局より説明)

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

自治会停留所の設置基準を改めて説明してください。

【事務局】

自治会停留所は、自治会単位で半径 200mの範囲で 1 か所程度設置しています。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

現状、半径 200mの範囲すべてに停留所は設けられていますか。

【事務局】

住民が少ないもしくは住んでいない場所には設置していません。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

住民の方は自治会停留所の設置基準を知っていますか。

【事務局】

自治会長は知っています。また、ふれあいバス等懇談会などで要望があった際に説明をしています。

以上で、本日の議事、報告事項はすべて終了とさせていただきます。
その他、報告等はありませんか。

【名古屋鉄道株式会社 高井委員 代理：夫馬様】
こども manaca おでかけキャンペーンについて

【株式会社アイシン 杉山委員】
チョイとおでかけプロジェクトについて

【岐阜乗合自動車株式会社 宮部委員】
交通系 IC カード ayuca の廃止について

【事務局】
利用促進事業の進捗について

最後に、川端准教授に本日の会議の総括をお願いします。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】
チョイソコかかみがはらは、コロナ禍に突入したときに導入されました。その際は、チャレンジだと感じましたが、導入から5年利用者も順調に伸びていることは成果だと思います。公共交通会議は、ふれあいバスやチョイソコだけ議論するのではなく、鉄道を含め、市内公共交通のすべてをとらえて議論していく必要があります。そして、そのすべてのネットワークを駆使して市内公共交通を支えていかなければいけません。株式会社アイシン様や名古屋鉄道株式会社様のおでかけのきっかけを作る仕掛けやイベントも公共交通を支えていくために必要だと思いますので、今後も皆様ご協力をお願いします。